

# 7月の えんだより



色とりどりの紫陽花が、綺麗に花を咲かせる季節となりました。子どもたちは、園外保育に出かけては、季節を感じ、道ばたの花や草木、そこに住んでいる虫たちを見つけては、驚いたり、自然の不思議さに目を輝かし、探究心を膨らませています。園のプランターでも、「はらぺこ毛虫」がパンジーの花や葉っぱを食べて、スクスク成長して、さなぎになり、子どもたちに見守れながら「つまぐるひょうもん」という、きれいな「ちょうちょ」になって、大空に旅立っていきました。公園では、アメンボを捕まえ「やっぱりアメのような甘いにおいがする!」「身体はすごく細い!」などと、図鑑を見たり、読んだりして知ったことを実際に見て、触れて、において、体験することで、生き物や自然など自分たちの周りへの興味や関心が広がったり、深まっています。梅雨の間は、園外保育に行けない日々が続きますが、プールやシャワー、沐浴、体操支援などをとおして、水に親しんだり、暑さに負けない身体づくりを進めていきます。



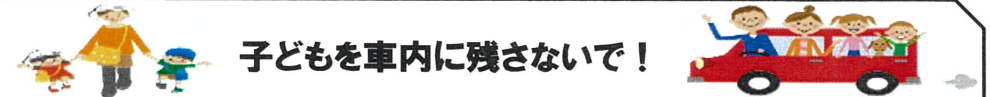
今年度は、保育の両輪である養護と教育の、養護では、クラスごとに、1年間(4~3月)の「めざす子どものすがた」と、これに向けた「クラスの目標」を設けて、子どもたちとの愛着、信頼関係を基本として、計画的に日々の活動に重点を置いて、互いに評価や見直しを行いながら子どもたちの育ちを支援しています。教育では、10の学習支援(知育、言語、語学、造形・創作、運動、音楽、健康、安全、栽培)による取組みを乳児クラス(0~2歳児)にも徐々に広げて、子どもたちの興味や関心、学びに対する喜びや楽しみの芽生えや育ちを支援していきます。

また、職員は安心安全な環境の中で、「子どもを真ん中に一人ひとりの子どもを主体とした保育」を実践し、高めていくことを共通の課題とし、職員同士で情報共有の徹底を図るとともに、資質の向上に向けた多種多様な研修を積み重ねていきます。

無限の可能性にあふれた、子どもたち一人ひとりの豊かな個性や感性に保護者の方々と一緒になって寄り添い、育んでいきます。ご理解とご協力、ご意見、ご要望をいただきますようお願いいたします。

## ありがとうの日の会

母の日、父の日にちなんで、6月14日(金)に「ありがとうの日の会」を開催しました。子どもたちに「ありがとう」誰に言いたい?どんな時に言いたい?と聞くと「お父さん!」「お母さん!」「いつもお仕事してる」「遊んでくれる」「お迎えにきてくれる」などと、日ごろのお父さん、お母さんへのありがとうを発表しました。なぜ、みんなのために頑張っているのかを絵本の『たいせつなこと』を読み聞かせて、みんなで考えました。そして、お父さんやお母さんにとって、誰もがとても大切で、かわいく、愛情を注いで育ててもらっていることを知りました。ありがとうの気持ちを込めてプレゼントを作りました。



季節や時間に関係なく、「子どもが寝ているから」「ちょっとの間だから」「エアコンをかけているから」と、子どもを車内に残すことは大変危険です。特に夏の季節は、車内の温度が急激に上がり、熱中症の危険があります。体温調整機能が未発達な乳幼児は、高温時に急激に体温が上昇します。また、子どもが車をいたずらして誤作動を起したり、車外に出て事故に巻き込まれたり、連れ去りなどの危険も考えられます。

車内に子どもが残されて、周りに保護者がいないところを発見したときは、子どもの安全を第一に、すぐに警察(110番)に通報してください。

~子どもたちには、もしも、車に閉じ込められたときのことも教えておいてください~

- ①シートベルトを外し、足元に気を付けて運転席へ行く。
- ②三角マークのボタンを押して、車のハザードランプを点ける。
- ③らっばマークを力いっぱい押して、クラクションを鳴らす。



## ~汗をこまめにふきましょう~

身体は、汗をかくことで、体温を調整したり新陳代謝を行ったりしています。健康を維持するための大事な機能です。しかし、汗を放っておくと、不衛生になり皮膚トラブルにつながったり、汗が冷えて風邪をひいたりすることがあります。汗をかいたときは、こまめに汗をふいたり、着替えるよう心がけてください。 ※白、青、黄組は、毎日、汗ふきタオルを持ってきてください!

## << 登園時間をお守りください >>

園児は、9時30分までに登園させてください。お休みの場合や医療機関への受診などで遅れる場合には、9時までに必ず園に連絡してください。ご連絡がなく登園がないときは、ご登録の連絡先に安否確認を行いますのでご承知願います。

日	月	火	水	木	金	土
6月30日 休日保育	7月1日	2 調整会議	3 幼児会議	4 内科検診 (青・桃・ひよこ組) 乳児会議	5 七夕のつどい 誕生日会	6
7 休日保育	8	9 体操のひろば (白・桃組)	10	11 避難訓練 (火災)	12 絵画のひろば (青組)	13
14 休日保育	15 海の日 休日保育	16 体操のひろば (青・黄組)	17	18 避難訓練 (不審者) 内科検診 (白・黄・赤組)	19	20 
21 休日保育	22 身体測定 週間	23 体操のひろば (白・桃組)	24	25	26 デイキャンプ (白組)	27
28 休日保育	29	30 体操のひろば (青・黄組)	31	8月1日	2	3

園だより担当  
園長代理:原田

電話(082)824-7801 (URL) <https://kenshin-meikou.jp>  
FAX (082)824-8030 メールアドレス info@kenshin-meikou.jp

# クラスだより



今年度から園の基本指針である「笑顔あふれる育ちのひろば」の下、各クラスで来年3月までの1年間の保育活動で「めざす子どものすがた」をお示し、それに向けた「クラス目標」と「取組方針」を定めました。

各クラスでは、これを実現していくための、年間や月間などの計画を策定して、職員が情報を共有し、チーム全体として日々の保育を進めています。

また、計画は定期的に評価し、見直しを行って、次の計画に反映していきます。

## 1年間のクラスの目標・目指す子どもの姿

### ～笑顔あふれ、元気に育つ～ 【ひよこ組 0歳児 6人】担任:奥崎

『愛情を受け止め、五感を磨き、全身を使って思いを表現できる』子どもを目指します。  
子どもたち一人ひとりに愛情を注ぎ、その思いや欲求を全面的に受け入れ、思いに応じ、欲求を満たすことで、子どもたちとの深い絆を育みます。また、安全で清潔、心地よい生活環境の中で、健康な体が育ち、自ら感じ、考え、表現できる豊かな感情を育みます。



### ～自分の思い、いっぱい育む～ 【赤組 1歳児 15人】担任:金井 副担任:森戸

『人や周りの物への興味や好奇心を育み、思い思いに行動できる』子どもを目指します。  
子どもたち一人ひとりの豊かで多様な個性を認め、育むことで、健やかな体と心の成長を支援します。また、見る、聞く、触れるなど五感を使った探索活動をとおして、なんだろう？に誠実に応え、やってみたい！を安全に配慮し、応援します。



### ～明るく、伸び伸び、自分らしく～ 【桃組 2歳児 15人】担任:栗林 副担任:倉留

『自我と感性を育み、自分から自分の思いを表現できる』子どもを目指します。  
子どもたち一人ひとりの自我の芽生えに寄り添い、ありのままの姿を認めることで、個性を伸ばし、豊かな感性を育み、身の周りの人や物、できごと、季節の変化などへの興味や関心を広げながら、個性豊かな思いや欲求を受け止め、表現できるよう支援します。



### ～したい、やりたい、やってみる～

#### 【黄組 3歳児 19人】担任:松本 副担任:相原

『自分らしさを発揮し、主体的に興味・関心を深め、活動できる』子どもを目指します。

子どもたち一人ひとりの思いや考えを受け止め、自我の育ちを支えることで、自分の思いに向かって伸び伸びと活動し、自信を深め、達成感を感じられるようにします。また、遊びをとおして、仲間との折り合いを付けながら、思いを広げ、協調して、集団生活を送ることができるよう支援します。



### ～みんなつながり、思い広がる～

#### 【青組 4歳児 19人】担任:今田 副担任:乃美

『仲間の一人として生き生きと行動し、自分らしさを表現できる』子どもを目指します。

子どもたち一人ひとりの興味・関心や交友関係を理解し、温かいふれあいの場を設けることで、自分の存在を理解し、集団活動の楽しさや喜びを感じられるようにします。また、自分の思いを大切に、集団の中で仲間と喜びや悲しみ、思いを共感でき、互いの支え合いや信頼関係が育まれるよう支援します。



### ～思いやり、助け合い、行動する～ 【白組 5歳児 17人】担任:島崎

『仲間を思いやり、目標に向かい、挑戦・協力し、やり遂げられる』子どもを目指します。  
子どもたち一人ひとりの個性を大切に、一つひとつの「できた」、「できる」に共感し、成功体験と達成感を積み重ねることで、ありのままの自分を受け入れ、自分を愛し、他人を認め、自信を持って、挑戦や活動できるようにします。また、仲間と目標を共有し、主体的に考え、悩み、調べ、創意工夫、挑戦し、互いを認め、その達成を喜び合うことで、仲間との将来にわたる信頼感と連帯感が育まれるよう支援します。

